

1 教育目標

《大好き!晴海台!~ふるさとを知り、ふるさとを知り、ふるさとに貢献できる子ども~》

目指す子ども像

- しっかり勉強する子ども 「知」…確かな学力 正しい学習習慣
- きっちり決まりを守る子ども 「徳」…望ましい人間関係
- もっとふれ愛ことばを使う子ども 「体(健)」…正しい生活習慣

2 学校経営方針

基本方針(ミッション)

諸法令等に則り、日々の教育活動を省察しつつ改善を図り、児童に確かな学力を身に付けさせることを通して、正しい生活及び学習の習慣と望ましい人間関係に基づいた協働精神を持つ児童を育成する目標を、学校・家庭・地域が共有し、自他に誇れる校風を醸成する。

3 重点目標

- GI-1 確かな学力の向上を図ります
(学び合い・学び続ける学校)
- GI-2 健やかな心と体を育成します
(語り合い・響き合う学校)
- GI-3 学校・家庭・地域の連携による教育の充実を図ります
(語り合い・響き合う学校)(整っている学校)
- GI-4 安全・安心に学べる教育環境を整備します
(整っている学校)

4 自己評価

領域	項目	質問内容	アンケート集計 肯定的割合%				分析及び改善策
			下段の()内は昨年度				
			児童	保護者	教職員	地域	
学校経営	教育目標	教育目標を達成している	90 (90)	93 (93)	100 (100)	90 (92)	学校の雰囲気について、児童の結果が昨年度を6ポイント下回っており、子ども達が充実した学校生活を送ることができるよう、学級経営や学習指導での手立てが必要と考える。
	学校の雰囲気	明るく楽しい雰囲気である	85 (91)	94 (95)	100 (93)	100 (100)	
	組織運営	校務分掌は責任体制が明確で、適切に機能している			100 (100)		
	業務改善	校務の縮減・効率化等、業務の改善を推進している			93 (73)		
心の教育	生活・生徒指導	ルールやマナーを身に付けている	87 (87)	91 (92)	80 (73)	90 (100)	全体的に良好な結果となった。しかしながら、挨拶に関しては児童・保護者の意識と教職員の意識の間でポイントに差があり、静かな場所ですれ違う際の会釈など、時と場に応じた挨拶について指導していく必要がある。「悩みや相談に親身に対応している」という項目について、保護者のポイントが向上しており、児童に寄り添った対応が丁寧になされている結果と言える。
		挨拶をよくしている	94 (95)	89 (91)	80 (93)	100 (100)	
		「あ・は・は運動」を知っている(小学校のみ)	88 (81)	90 (83)	80 (87)		
		教職員は悩みや相談に親身に対応している	89 (88)	92 (88)	100 (100)		
	いじめ防止対策	学校はいじめ防止のための対策をとっている	82 (82)	92 (86)	100 (100)		
	人権教育	生命や人権を尊重しようとする心が育っている	94 (96)	97 (96)	100 (100)		
	平和教育	平和の大切さを感じ、その思いを発信しようとしている	91 (97)	96 (96)	100 (87)		
	特別支援教育	学校は教育的ニーズに応じた教育を行っている	97 (89)	93 (97)	100 (100)		

確かな学力	特色ある学校づくり	伝統や校風の実態に即した教育を行っている	96 (95)	100 (96)	100 (100)	家庭学習の習慣について、教師の肯定的割合が100であるのに対し、児童は87という結果であった。児童自身が、自宅での家庭学習が十分ではないと自覚できていることは、より高い目標に向けての意識の表れだと考える。	
	学習指導・教育課程	わかりやすい授業を行っている	94 (94)	92 (94)	100 (100)		
		家庭学習の習慣が身に付いている	87 (92)	81 (81)	100 (93)		
	キャリア教育	将来の自立に向けて適切に指導している	85 (86)	89 (93)	100 (100)		
		長崎のまちや自分の住んでいる地域が好きである	91 (94)	92 (97)	100 (100)		100 (100)
健やかな体	保健・衛生	衛生管理に努め、健康に関する教育を行っている	86 (92)	97 (98)	100 (100)	全ての項目で教職員が肯定的な評価をしている一方で、保健・衛生と体力向上に関して児童のポイントが、昨年度を下回る結果となった。児童が体力向上と健康への意識を自覚できるような取組について、継続して指導していく必要がある。	
	体力向上	基本的な生活習慣が身に付いている	86 (86)	90 (89)	100 (87)		
		体力向上に努めている	87 (90)	94 (94)	100 (80)		90 (100)
	食育	食に関する教育活動を行っている	80 (76)	96 (99)	100 (93)		
信頼される学校	安全管理	児童生徒の安全に気を配っている	95 (96)	95 (96)	100 (100)	昨年度と比較して低くなった項目はあるものの、概ね高い評価となった。PTA・地区との連携では、教職員の意識の高まりを感じる、今後も信頼される学校づくりに向けて危機管理や安全管理に努めていく。	
	情報提供	学校の状況は通信やHP等で知ることができる	85 (85)	98 (96)	100 (100)		100 (100)
	PTA・地区との連携	学校はPTAや地域との連携がとれている	86 (88)	96 (96)	100 (93)		100 (100)
	職員の資質向上	研修が充実し、資質が向上している			100 (100)		
教育環境	環境整備	教育環境が充実し、整備されている	92 (92)	95 (94)	100 (100)	全体的に良好な結果となった。職場環境についても、日常的な声掛けなど教職員の努力の成果が表れている。	
	職場環境	学校は働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる			100 (87)		

地域の方の声

- ・学校だよりを通して、学校の状況、教育の学び場等、私共の学びとして職員一同回覧して学ばせて戴いております。又、幼保小連携についても、対応いただきまして感謝申し上げます。
- ・学校サポーターとして月に2回しか活動できていないのに、いつも先生方に笑顔で接していただき、子どもたちも素直で明るいのでやり甲斐を感じております。だから、子どもたちに対しても先生方が心を配っていらっしゃるのので応援したくなるのです。授業中はちょっと困らせる子どもたちも、休み時間や学校の外ではにっこり笑顔で挨拶してくれたり話しかけてくれるので、地域で見守ってこういうことだと思い、うれしい気持ちでいっぱいです。
- ・保育園と交流させて頂いております。お世話になっております。子ども達は自らあいさつをし、話しかけてくれます。卒園児を含め子ども達の姿にホッと、こちらも笑顔になります。運動会等の行事でもPTAの方の参加が積極的で学校との関係の良さを感じております。
- ・学校だより「晴海の丘」も頻繁に発行され、楽しみにしています。学校の様子がよくわかります。読ませていただきながら、うなずいたり、「そうなんだ!」と考えさせられたりしつつ、私自身勉強させて頂いています。
- ・晴海台ふれあいセンターの駐車場は車の出入りがある為、危ないので遊ばないようお願いします。

5 自己評価のまとめ(成果・課題・対策等)

全ての項目において肯定的評価が80%以上という結果となった。保護者と教職員においては90%未満の項目はそれぞれ3項目にとどまり、学校に対する高い信頼が構築されてきていると感じている。しかしながら児童の評価については、昨年度の結果を上回ったものが全体の5割程度であった。学校だより「晴海の丘」を配布する際に、教師が児童に対してかみ砕いて説明することで、学校の教育方針が児童にも浸透していくと考える。また、児童自らがより良い学校づくりに参画していくためにも、代表委員会等の児童会活動についても工夫を図る必要があると考える。家庭学習の項目は、児童と教師の結果に開きが見られるものの、児童が自分を真摯に見つめている傾向と考える。ICT機器を活用し自立を促しながら、児童自身が学びの成果を実感できるような授業づくりについても推進していきたい。今年度は、校舎の外壁改修、屋上防水といった大規模な工事が行われ、次年度は体育館の屋根の修理が予定されている。学校施設の整備は、安全安心な教育環境の保障につながっており、職場環境についても高い評価を得た。総合的に高い評価をいただいていることに慢心するのではなく、より高い意識をもって学校教育目標の具現化に向けて学校経営を進めていく。

6 学校関係者評価

- ・概ね良好な結果が得られたことは大変喜ばしいことである。
- ・元気に挨拶してくれる子どもが多く、地域でも(落書き等の)いたずらが減ったように感じている。
- ・ふれあいセンターの駐車場で遊んでいる姿を見かける。特に水曜日の書道教室の後、子どもが集まっているので走り回っていることがある。公共施設の使い方や危険な場所での遊びの禁止について指導をお願いしたい。
- ・学力向上について、晴海台小学校の実態を聞かせていただきたい。
- ・スクールゾーンの表記ができたことは、とてもありがたい。できれば、晴海台地区は住宅街のため見通しの悪い交差点が多いことから、路面に交差点を意味する青い枠を引いてもらうことはできないだろうか。
- ・電話の対応時間が勤務時間に合わせた形となったことは、先生方の働き方改革にもつながっていると考えている。

7 対策等の見直し(学校関係者評価を受けて)

学校評価の集計結果については高く評価いただいた。その中で、地域の方が本校の学力についても高い関心を持っておられたことから、今後は学力向上の取組や実態についても地域と情報を共有していく必要があると考える。特に地域行事への参加や交流活動など、学習活動としての位置づけを地域の方にご理解いただきながら進めていきたい。学力向上は学校だけの課題ではなく、地域や家庭も巻き込みながら、大人総がかりで解決していかなければならない課題である。学校と地域・家庭がそれぞれの役割を主体的に担い、協働していく体制を整えていきたい。また、地域での子どもの過ごし方についても、地域の関係団体やPTAとも連携を図り、安心・安全に過ごすことができるまちづくりに向けて、安全教育や生活指導の充実を図っていく。